

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2006-148612 (P2006-148612A)

【公開日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報 2006-022

【出願番号】特願 2004-336843 (P2004-336843)

【国際特許分類】

H 0 4 R 19/02 (2006.01)

H 0 4 R 19/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 19/02

H 0 4 R 19/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 31 日 (2007.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

振動膜と、当該振動膜との間に空隙部を含むように積層された導電性を有する固定極層と、固定極層における振動膜と反対側に設けられた多孔質層と含む音響装置において、前記多孔質層の少なくとも一方の面及び又は厚み方向中間部に撥水層を設けたことを特徴とする音響装置。

【請求項 2】

前記撥水層より外側には、水蒸気を吸収する捕水層が設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の音響装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

前記目的を達成するため、本発明は、振動膜と、当該振動膜との間に空隙部を含むように積層された導電性を有する固定極層と、固定極層における振動膜と反対側に設けられた多孔質層と含む音響装置において、

前記多孔質層の少なくとも一方の面及び又は厚み方向中間部に撥水層を設けた、という構成が採用されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、前記撥水層より外側には、水蒸気を吸収する捕水層が設けられる、という構成も好ましくは採用される。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、撥水層より外側に捕水層を設けた場合、捕水層に吸収された水蒸気が水分となって撥水層に水蒸気が達し難くなり、撥水層で水分が透過することをより良く回避することができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

また、図6に示されるように、撥水層20の外側に捕水層22を更に設けた構成も考えられる。この際、捕水層22は、水蒸気を吸収するとともに、その内部で前記水蒸気を水分に変えることが可能な活性炭やシリカゲルなどの多孔質材料のような素材により構成される。これによれば、水蒸気が撥水層20に直接触れ難くなるばかりでなく、捕水した水分が経時的に乾燥して撥水層20が初期状態に略復帰するので、当該撥水層20による撥水効果をより良く得ることが可能となる。